

じらかい



会報第8号
平成26年1月1日
西条市連合自治会

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、皆様のご健勝と限りないご清福を心からお祈り申し上げます。

また、平素は、西条市連合自治会の活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私たち自治会を取り巻く情勢は、会員の高齢化、加入率の低下、コミュニティ意識の希薄化や発生が予想される大規模災害に対する備え等、様々な問題を抱えております。

そうした中、今号では「特別寄稿」としまして、福島県相馬市からお寄せいただきまし

た東日本大震災発生時の自治会活動を伝える記事をご紹介します。

この貴重な記事から教訓を学び取り、新年を迎えるに当たり、一年の計だけでなく、災害への備えも新たにしたいものです。

今後も皆様方と協力し、支えあい、手を繋ぎ合って共に高め合える活動になるよう、全力をあげて取り組んでまいり所存でございますので、引き続き格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

平成26年元旦

西条市連合自治会 役員一同

【特別寄稿】

今、改めて被災地の自治会に学ぶ! ~相馬市の自治会から学ぶ災害対応~

東日本大震災の発生から3年が経とうとしています。私たちの記憶の中で、震災が“過去の出来事”“よその出来事”になってはいないでしょうか?

私たちが住む地域でも、今後30年以内に60%~70%の高い確率で南海トラフ巨大地震が発生することが危惧されており、昨年暮れには愛媛県から南海トラフ巨大地震が発生した場合の人的・物的被害やライフライン被害、経済被害などについて発表が行われ、私たちの西条市においても甚大な被害が発生するという想定となっていました。

自治会は災害発生時に大きな力を発揮する組織です。明日起きるかもしれない大震災に備えるためにも、私たちは改めて東日本大震災被災地の経験に学び、教訓を得ていかなければなりません。

今回は、西条市と災害時相互応援協定を結んでいる福島県相馬市の区長会長で東部地区第5区長の飯土井光毅様からお寄せいただきました東日本大震災発生時の貴重な体験談・活動記録を紹介させていただきます。

東日本大震災時の市と連携した自治会の対応

私たちの自治会は、相馬市の海沿いの地域にある自治会で、424世帯、人口1,196名(平成25年9月末現在)となっております。漁業を中心とした世帯が多く、また、海水浴場や松川浦も近いことから、観光や商業に携わる人々も多い地域です。松川浦の環境を後世に伝えるための松川浦環境公園を整備し、春から夏には潮干狩り、海水浴など、秋から冬にかけては鮭の遡上やズワイガニ漁などにより、県内だけでなく県外からも観光客が訪れる、風光明媚な地域でした。そのようなところに、東日本大震災が発生し、大津波が襲来し、福島第一原子力発電所の事故が起きました。

1 安否確認

市では被災者の安否確認が必要不可欠でした。行方不明者の捜索を早急に行わなければならないからです。区長を中心に自治会内の安否情報を収集し、被害の大きな場所の特定や、孤立箇所の発見、被害状況の報告などにより市、消防、警察、さらには自衛隊と情報



震災直後の松川地区

を共有することで一人でも多くの犠牲者を減らすことに努めました。

2 情報の伝達

被災者に対し様々な情報の提供を行いました。市では震災3日後から週2回の臨時広報を出しました。避難所の場所、給水車の時間、食料等の支援物資の配布、義援金等の配布、原発事故への対応、ガソリンや生活物資の販売情報、各種相談窓口などをお知らせいたしました。これらの情報は、広報により行政区（自治会）を通じて周知いたしました。

3 支援物資の配布

市から市民へ水、米、毛布、リュックサックなどの支援物資が配布されました。これらは、区長を通じて行政区内へ配布いたしました。

4 行政区（自治会）内での相互協力、連携

相馬市では行政区（自治会）単位で自主防災組織を結成しており、地区集会所での炊き出しや、断水時には地区内の井戸水の共同利用、地域の見回りによる不安や孤独への対応など、独自の活動により震災後の混乱や不安を少しでも和らげるための活動を行いました。



臨時広報



地域の見回り、声かけ訪問



支援物資の配布

○災害時における自治会の意義

東日本大震災では電気が止まり、水道が止まり、電話が繋がらず、さらには原発事故の風評被害により食料や衣類、生活物資など、さらにはガソリンや医薬品まで不足し、被災地が孤立した状態となりました。そのような中で、自治会を通じて市民へ正確な情報提供を行うことができたと考えており、少なからず地域の孤独や不安の解消につなげることができたと考えております。

また、行政や消防だけでは活動に限界があります。非常時こそ、自治会内の相互協力による炊き出しや見回りなどによって、被害を少しでも少なくすることができたと考えております。

東日本大震災は、“未曾有の国難”とも言うべき大災害でした。

その大災害の中であって、相馬市では自治会が“共助”の力を発揮し、住民の安否確認や情報提供等に大きな役割を果たしました。

普段から“共助”の核となる自治会が身近にあって、その自治会の一員であることが、災害時には自分だけでなく、多くの人々の命を守ることに繋がるのです。

今回の特別記事の掲載に当たりましては、飯土井光毅様、相馬市総務部総務課行政管理係長の飯島正之様から格別のご協力を賜りました。

ここに改めて、お二人に深く感謝申し上げます。そして、被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

☆☆☆☆☆☆ 自治会に加入し、非常時に助け合いましょう ☆☆☆☆☆☆

自治会では、地域に住む人々が、よりよい環境のもとで気軽に付き合い、充実した生活が出来るよう、自主的かつ自発的に共同活動を行いながら、お互いに助け合って、まちづくりを進めています。

地域での連帯感を高め、安全で明るいまちづくりのために、積極的に自治会に加入しましょう。（入会される場合は、お近くの自治会長または自治会役員までお問合せください。）

西条市連合自治会事業報告

- 4月8日 西条市連合自治会支部長会
 ・理事会及び総会について
 ・会長表彰について
- 5月28日 西条市連合自治会理事会
 ・総会について
 ・愛媛県自治連合会総会について
- 6月26日 西条市連合自治会総会
 ・会長表彰及び会長感謝状
 ・事業報告、決算報告、事業計画、予算審議
- 8月2日 愛媛県自治連合会総会
- 8月27日 西条市連合自治会理事会
 ・視察研修について
 ・自治会加入促進について
 ・会報の作成について
- 9月26日 市政懇談会(西条支部)
 ・西条市の経済状況について
 ・高齢化社会の防災について
 ・2017年国体開催に向けての取組について
- 10月1日 市政懇談会(丹原支部)
 ・高齢者の生きがい対策について
 ・総合支所の今後のあり方について
- 10月22日 市政懇談会(小松支部)
 ・旧砂田屋製材所跡地の取得について
 ・空き家の対策について
- 10月27日 西条市総合防災訓練(丹原小学校)
- 10月31日～11月1日
 西条市連合自治会視察研修(宝塚市他)
- 11月12日 市政懇談会(東予支部)
 ・地域防災について
- 11月26日 西条市連合自治会理事会
 ・視察研修の報告について
 ・会報の作成について
- 12月8日 西条市総合防災訓練(西条南中学校)



西条市連合自治会視察研修

期 日 平成25年10月31日～11月1日
 場 所 宝塚市自治会連合会 他

先進地視察研修として宝塚市自治会連合会を訪問し、意見交換会を実施しました。

意見交換会では「自治会活動について」、「災害時における自治会の役割と活動について」をテーマに研修を行いました。

宝塚市自治会連合会は、7つの地区自治会連合会で組織され、各地自治会連合会との連絡を密にして自治会相互の連携並びに振興をはかることによって、住民の福祉増進を目的に活動しています。

宝塚市は、阪神淡路大震災をきっかけとし、様々な問題を解決するために、自然と住民同士が話し合うことが多くなり、そこから積極的に自治会活動を行うようになり、自主防災活動にも熱心に取り組んでいるとのことでした。

そのほかにもマンション住民への加入促進や自治会独自の取組について意見交換をさせていただき、大変有意義な研修となりました。この研修をきっかけとして、今後も情報交換ができるような関係を続けていければと思います。

平成25年度 西条市連合自治会総会

平成25年6月26日に西条市連合自治会総会が開催され、理事・評議員55名が出席し、議事の審議のほか、自治会功労者への表彰が行われました。

○会長表彰 齋藤正史(氷見) 菅 時雄(壬生川)

○会長感謝状 永島義勝(大町) 河村 勝(神戸) 越智健二(壬生川) 冠 眞夫(壬生川) 山路春美(壬生川)
 中野邦廣(庄内) 芥川 穰(庄内) 常廣清隆(国安) 安藤 功(丹原) 渡部武志(徳田)
 武田和夫(徳田) 村上浩一(中川) 今井義親(桜樹) 山中弘子(桜樹)

平成25年度 役員名簿

役職名	氏名	支部名	役職名	氏名	支部名
会長	松木 忠司	東予	理事	日野 喜政	西条
副会長	塩崎 武司	西条	理事	上野 清七	西条
副会長	佐伯 正昭	丹原	理事	岡村 重治	西条
副会長	田口 勝三	小松	理事	相原 一義	東予
会計	垣鏑 秀夫	西条	理事	上岡 悍	東予
監事	渡部 義文	東予	理事	川原 光明	東予
監事	渡部 武志	丹原	理事	安藤 功	丹原
理事	高橋 武市	西条	理事	曾我 義一	小松

壮年ソフトボール大会（西条支部）

平成25年11月17日(日)西部公園グラウンドで第41回西条市連合自治会西条支部壮年ソフトボール大会を開催しました。

この大会は、会員相互の親睦と交流を図るとともに、健康で明るい地域づくりを推進するために行っているものです。

3年振りに開催された今大会は、各校区自治会からの精鋭が参加し、熱戦が繰り広げられました。

玉津校区と氷見校区の決勝戦は強力打線の玉津校区が制し、優勝旗を手にしました。

天候が気になる今大会でしたが、大いに盛り上がり、親睦を深めることができました。



市政懇談会を開催（東予支部）

平成25年11月12日(火)東予総合福祉センターで西条市連合自治会東予支部の主催による市政懇談会～市長とキャッチボール～を開催しました。

最初に、東予支部を代表して川原壬生川地区連合自治会会長が「地域防災について」を地域課題として問題提起を行い、これに基づいて意見交換がなされました。その後、フリートークに移り、日頃、自治会が抱えている身近な問題、市に対する要望等がそれぞれ出され、活発な意見交換がなされました。なお、平成26年から「市政懇談会」は各公民館を単位として、拡大して開催されることになりました。



西条市総合防災訓練（丹原支部）

平成25年10月27日(日)市及び西条市連合自治会主催により、丹原小学校で南海トラフ巨大地震を想定した西条市総合防災訓練を実施しました。

当日は、消防機関や自衛隊などの指導による応急・救護や救出・搬送などの実践的な各種訓練が行われました。特に今回は、初めて避難所運営訓練やヘリコプターによる救助訓練も行われ、災害発生時の対応能力の向上を図ることができました。

今後も、地域住民が主役となった実践的な訓練を開催し、地域の防災力の強化に努めていきます。



三世代交流（小松支部）

石根校区の大郷自治会では、三世代が集う行事が年に数回あります。春のお花見では子どもたちが自己紹介をしたり、秋のお祭りでは子供相撲があったり、丹原地区のだんじりを招いて交流したりもして、自治会内の子どもたちからお年寄りまで、みんなが集まってきます。「お年寄りには家から出てきてお味噌汁一杯でも飲んでもらいたい。」「子どもたちの顔をみんなに知ってほしい。」こうした取組をすることで防災訓練などにも参加してもらえるようになった、と、曾我義一自治会長。写真は昨年10月に市と連携して行った防災訓練の一場面です。



編集後記

会報「じちかい」第8号をお届けします。

広く市民の皆様にお読みいただき、自治会活動について、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。あわせて、この機会に、自治会未加入の皆様にも、ご加入いただきますようお願いいたします。

<編集・編集委員> 西条市連合自治会 理事一同

西条市連合自治会事務局（西条市役所市民生活課内）TEL 0897-56-5151（内線2461）